

学 の 道



全国学力学習状況調査号
富士市立富士川第一中学校
令和 7 年 8 月 28 日

4月17日(木)に、全国学力・学習状況調査を実施しました。この調査は毎年、中学3年生を対象に行われています。この調査の目的は、全国の生徒の学力、学習状況を把握・分析することや教育施策の成果と課題を検証し、改善策を図ることです。また、生徒への教育指導の充実に役立てることも目的の一つです。

調査内容は、国語・数学・理科・生徒への質問です。夏休み中に調査結果が文部科学省から届きましたので、お知らせいたします。今回の結果を踏まえて充実した学習ができるよう、授業改善や活動の工夫をしていきます。また、この結果を基に御家庭と学校とで情報等を共有しながら、生徒たちにとってよりよい学習環境を整えられればと考えています。

学力調査の結果（国語・数学・理科）について

【国語】

分類		区分	R 7 平均正答率 (%)			全国との差 (ポイント)
			本校	静岡県	全国	
学習指導 要領の 領域	知識 及び 技能	言葉の特徴や使い方に関する事項	52.1	48.3	48.1	+4.0
		情報の扱い方に関する事項	61.7	65.2	63.3	-1.6
		我が国の言語文化に関する事項	61.7	61.6	61.0	+0.7
	思考力 判断力 表現力等	話すこと・聞くこと	54.8	55.2	53.2	+1.6
		書くこと	58.3	56.0	52.8	+5.5
		読むこと	68.8	63.5	62.3	+6.5

国語では「情報の扱い方に関する事項」の正答率が全国や県の数値を下回り、それ以外の正答率はすべて上回る結果でした。特に「読むこと」と「書くこと」においては、大幅に上回りました。日頃の授業において、作者や筆者が伝えたいことを自分の読みと他の読みの違いを授業で検証し、文章中にある言葉や語句のもつ意味を正しく調べる学習を通して、言葉の意味が理解できた成果だと思われます。また、漢字の正答率は42.6%でした。文脈に即して漢字を正しく読み取ることが、7.4ポイントも全国平均を上回り、日々の練習の成果が表れていました。

課題となったのが、「情報の扱い方に関する事項」です。資料や機器を用いて自分の考えをまとめることができても、相手に分かりやすく伝えられる表現方法が曖昧のようです。本校の学校重点目標は「挑戦と発信」です。今後の授業や活動で、自分がまとめたことや資料を基に、何を相手に伝えたいのかを明確にして、練習や実践をしていくことが必要だと思います。また、発表者に対して温かく共感的に聴き合える雰囲気をもどける授業でもできるようにしていきます。

【数学】

分類		区分	R 7 平均正答率 (%)			全国との差 (ポイント)
			本校	静岡県	全国	
学習指導 要領の領域		数と式	42.1	45.9	43.5	-1.4
		図形	55.9	49.1	46.5	+9.4
		関数	48.9	48.3	48.2	+0.7
		データの活用	67.4	64.4	58.6	+8.8

数学では「数と式」の正答率が全国や県の平均を下回り、それ以外の正答率は全国平均を上回りました。「図形」の証明問題の正答率は全国平均より16ポイント高く、74.5%でした。証明された事柄を基にして、新たに分かる辺や角についての関係を見出せる力が着実に身に着いています。また、「平行四辺形ABCDの辺BC、DAを延長した直線上にBE=DFとなる点E、Fを取っても四角形AECFは平行四辺形となる証明を完成させる問題の正答率も全国平均より19ポイントも高く、55.3%でした。図形を統一的・発展的に考えて条件を整理して証明できる力も身に着いています。

今回課題となったのが、「数と式」です。正答率が1.4ポイント下回りました。素数の意味を理解し、問題を解く練習が必要なようです。

解けない式がなくなるように、日々の練習時間を確保し、計算力を高めてほしいです。式の解き方が分からない場合には数学担当の先生に解き方を聴くことや、11月から実施予定の富士川放課後学習に参加するなど、分からないことをそのままにしない取り組みをしてほしいです。

【理科】

分類	区分	R 7 平均正答率 (%)			全国との差 (ポイント)
		本校	静岡県	全国	
学習指導 要領の領域	エネルギー（電気回路）	85.1%	88.3%	85.2%	－1.0ポイント
	エネルギー（電熱線）	51.1%	54.1%	51.9%	－0.8ポイント
	エネルギー（実験結果の予想）	38.3%	34.8%	34.9%	＋3.4ポイント
	粒子（水道水と精製水の比較）	89.4%	83.6%	79.4%	＋10ポイント
	粒子（実験で精製水を使う理由）	57.4%	51.3%	49.2%	＋8.2ポイント
	粒子（塩素記号）	34.0%	47.2%	44.9%	－10.9ポイント
	生命（ノジギクのスケッチから）	70.2%	68.9%	65.9%	＋4.3ポイント
	生命（サクユリのスケッチから）	46.8%	45.8%	41.9%	＋4.9ポイント
	生命（生物 1～4 の呼吸について）	40.4%	31.6%	29.7%	＋10.7ポイント
	地球（地層）	40.4%	37.7%	36.2%	＋4.2ポイント

理科では、「エネルギー」の正答率が全国や県の平均を下回りました。また、「粒子」の塩素記号を答える問題の正答率は、全国平均から大幅に低いという結果です。しかし、「生命」に関する問題は、すべての項目で全国平均を上回っていることから、観察や生物のスケッチから適切な事柄を選択できる力が身に着いてきています。また「粒子」に関する問題は、授業で行った水道水と精製水に関する実験の経験から、正しい知識や判断力が身に着いてきています。

今回、全国平均から大幅に下回った「粒子」分野の塩素記号を答える問題は、定着ができていないと考察します。さらに、実験の追究の過程における自分の考えをまとめることや実験を基に疑問に思ったことの解決方法を見つけ出すことはできても、元素記号が理解できずに、相手に分かりやすく伝えられないという課題が見つかりました。

今後、正しい知識で、相手に分かりやすく伝えられる力を身に着けていけるように、元素記号の一覧表をいつでも見られる理科室の環境整備をすることや、自分のノートに元素記号一覧表を貼る等の工夫し、自分が知りたい元素記号がいつでも調べられるような学習の仕方が必要だと思います。

今回理科の調査は、GIGA タブレット使って回答する形式となりました。今後は、国語や数学も同じように ICT を活用した形式になることが予想されます。GIGA タブレットを正しく活用し、ICT を活用した学習も深まるように、支援をしていきたいと思っています。

生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査 本校のよい点と課題

質問紙調査は、学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査で、アンケート形式で回答するものです。

○「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の割合が静岡県平均や全国平均よりも高い項目

○よい傾向	本校	静岡県	全国	全国との差
○学校に行くのは楽しい。	93.6%	87.7%	86.1%	＋7.5ポイント
○(土)や(日)等、学校が休みの日に <u>2時間以上</u> 勉強する。(塾や家庭教師、インターネットの活用も含む)	40.4%	32.4%	32.5%	＋7.9ポイント
○学級の生徒と話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。	93.6%	86.8%	84.7%	＋8.9ポイント
◎自分には、よいところがある。	91.9%	87.2%	86.2%	＋5.7ポイント
○地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか。	89.3	78.0	75.3	＋14.0ポイント
○授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして協力しながら課題解決に取り組んでいますか。	100%	93.5%	91.6%	＋8.4ポイント

【よい点】

調査結果から、9割近くの生徒が「学校へ楽しく登校している」ことが分かります。この数値はここ数年続いており、富士川第一中学校の生徒のよさでもあります。

さらに今年度は、「自分にはよりよいところがある」の項目が全国の平均を上回る結果となりました。

この要因として、地域のボランティア活動に参加した際に地域、企業、行政、講師等の様々な方々から、生徒を認めることや感謝の気持ちを生徒へ伝えていただいた結果だと思っています。また、学校の活動に保護者の皆様の御理解と御協力があつてのことだと思います。本当にありがとうございます。本校の3年生は自己肯定感が高まっております。その生徒たちを教職員が一丸後なり卒業までしっかり支えていきたいと思っています。

もう一つ全国平均より大幅に上回っている項目がありました。それは、「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか。」の項目です。また、「学級の生徒と話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。」の項目も高い数値です。このことから、地域に貢献し、よりよい方法をみんなで考えて創りたいという思いをもっている生徒が多いことが分かります。生徒が創る文化発表会、富士川大運動会、特別活動の行事をとおしてよりよい学校が創れるよう応援をしています。

●静岡県平均や全国平均よりも低く気になる、又は課題とされる項目

●気になる傾向	本校	静岡県	全国	全国との差
●朝食を毎日食べていますか。	83.0%	92.9%	91.2%	－8.2ポイント
●友達関係に満足している。	87.2%	91.3%	91.4%	－4.2ポイント
●いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。	93.6%	96.3%	95.9%	－2.3ポイント
●学校の授業時間以外に、普段（月～金）1日当たりどれくらいの時間勉強をしますか。（学習塾や家庭教師、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）	2時間以上 29.7%	2時間以上 30.6%	2時間以上 30.8%	－1.1ポイント
▲将来の夢や目標を持っている。	53.2%	69.0%	67.5%	－14.3ポイント
●新聞を読んでいる。（週に3回以上）	8.5%	5.8%	11.5%	－3.0ポイント
●授業で学んだことを、次の授業や実生活に結び付けて考えたり、生かしたりすることができると思いますか	74.5%	73.8%	74.8%	－0.3ポイント
●あなたは、自分がPC・タブレット等のICT機器を使って情報を整理する（図、表、グラフ、思考ツール等をつかってまとめる）ことができますか。	55.3%	65.4%	63.3%	－8.0ポイント

【気になること】

気になることとしましては、「将来の夢や目標を持っている。」という項目が53.2%でした。令和6年度の後期の学校評価は51.3%でしたので、希望をもって生活することが停滞しています。体験や経験を基に「何のためにするのか」「どんな大人になりたいのか」「自分は何ができるのか」「自分の強みは何なのか」等自分の内面を見つめ、前向きな取り組みができるよう全教職員で支えていきたいと思っています。また、生徒と生徒、生徒と教職員、生徒と地域の方々、生徒と保護者がつながり、生徒が今の自分に幸せを感じることができる関係を築けるように活動や体験を充実させていきたいと思っています。保護者の皆様におかれましては、生徒が今後進路選択をする中で、高校卒業後に「自分は何ができるようになっていくのか」「職業は何をしたいのか」など現時点での自分の思いを見つめ、御家庭において肯定的に一緒にお話をさせていただけたらと思います。

【課題】

国語の「情報の扱い方に関する事項」でも記載させていただいたように、扱いやすい端末で図、表、グラフ、思考ツール等を使ってまとめ、情報を整理することに苦手意識を持っている生徒が約半数いるという結果となりました。授業で情報を整理して相手に分かりやすく伝える力を身に着けると共に、まとめた情報を発信する際に「相手がどのような気持ちになるのか」「その情報は正しいのか」また、受信側は「客観的な意見を否定と捉えず、多面的に考える」力が身に着くように、学級活動や講演会などを通して支援をしていきたいと思っています。

最後に、全国平均を大幅に下回ってしまった項目は、「朝食を毎日食べていますか。」です。学校へ朝食を取らずに登校し、授業中に体調不良を訴える生徒が多いことや教室で行う授業中に熱中症になってしまう生徒もいました。生徒は栄養補給が必要以上に欲する成長期でもありますので、毎日朝食を食べて登校できるよう御協力をお願いいたします。